

基本的な考え

子どもの成長を支える

子育てを支える

3つの視点

安全

子どもと子育てを支える
セーフティネット

5年間で全項目A評価を目指す

主な事業

- 【新規事業】
- ・ 病児・病後児保育事業
 - ・ 子育て短期支援（ショートステイ）
 - ・ ファミリーサポート事業
- 【継続事業】
- ・ 産前・産後ヘルパー事業
 - ・ チャイルドホットライン
 - ・ 生活困窮者自立支援（経済部）
 - ・ 生活困窮者学習支援（健康福祉部）

安心

将来を見通せる
子育て支援サービスや経済的基盤

財源等により優先順位を考慮

主な事業

- 【新規事業】
- ・ 5歳児検診（準備）
 - ・ 新しい幼児教育と保育
- 【拡充事業】
- ・ 留守家庭児童対策事業
- 【継続事業】
- ・ 乳幼児健診事業
 - ・ 子育て支援センター事業
 - ・ 親子ひろば（常設・地域）
 - ・ 児童療育事業

(楽しみ)

社会と関わり成長できる満足

重点事業として政策的に実施

主な事業

- 【新規事業】
- ・ 子育て支援拠点整備事業
- 【継続事業】
- ・ ブックスタート事業
 - ・ 子ども会等健全育成事業
 - ・ 学力向上対策事業
 - ・ 子育てに関する学習機会

子ども・子育てプランの目標(ビジョン)

安全・安心に続いて着目したい視点は？

□これまでの協議

キーワード

「ひとりじゃない子育て」「自己肯定感」「満足」「自己実現」「思春期の子どもの成長」「未来」「希望」「連続性」「循環」

○子どもの満足

- ・ 地域の中で、見守られ、認められながら成長する。未来に希望を持つことができる。

○保護者の満足

- ・ 子どもの成長を感じることができる。困った時に一人ではなく助けてくれる人や機関があることに安心できる。

○支援者の満足

- ・ 支援する側は、サービスを提供するというだけでなく、子育て世代や子どもとの交流を通じて満足感を覚える

○支援される人と支援する人

- ・ 支援する人、される人は、常に2者に分かれているのではなく、支援される人（親子）が支援する側に回ることもある。

○支援者を育てる

- ・ サポートする人、見守る人など、「あそび」を中心に支援者を育てていく
- ・ 中学生・高校生は支援される側であると同時に、支援する側になることもある

新規事業

事業名	病児・病後児保育事業		
分類	病児保育（市が設置、市立病院院内保育所に併設）、病後児保育（東保育園に設置）とも平成27年4月から事業実施。各事業1日当たりの定員3名、計6名。病児と病後児の連携を図りながら実施する。 ■必要な予算：事業者への委託料		
国が指定する記載項目	安全	安心	(楽しみ)
	○	○	

事業名	子育て短期支援事業（ショートステイ）		
分類	保護者が病気・出産・看護・出張・育児疲れなどの理由により一時的に養育が困難になった場合に、児童を市内の児童養護施設「光が丘学園」で預かる事業。宿泊を伴い、原則7日を限度とする。 ■必要な予算：事業者への委託料		
国が指定する記載項目	安全	安心	(楽しみ)
	○	○	

事業名	ファミリーサポート事業		
分類	地域において育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、助け合う会員組織を支援するため、育児援助者の育成を行う。現在活動中の「ははお」と協力予定。 ■必要な予算：講習会開催経費など		
国が指定する記載項目	安全	安心	(楽しみ)
	○	○	

事業名	5歳児健診（準備）		
分類	発達障害の早期発見と適正な支援を目的に実施する健診。主に集団の中での行動を観察する。平成28年度実施を目指し、必要な準備を行う。健診は、毎月1回、であえーるに整備するあそび場を活用。 ■必要な予算：所管部門と調整中		
市が政策的に実施する項目	安全	安心	(楽しみ)
	○	○	

事業名	栗沢地域子育て施設整備事業（新しい幼児教育と保育）		
分類	栗沢地域の幼保一元化施設整備と、栗沢文化センターを使った地域交流事業に関する基本構想については、今後、地元（父母会、PTA、文化団体等）との意見交換を経て策定。 ■必要な予算：施設的设计費など		
市が政策的に実施する項目	安全	安心	(楽しみ)
		○	○

事業名	子育て支援拠点整備事業（新しいあそび場の整備）		
分類	現在、基本構想をもとに基本設計の作業中。今後既存施設の課題等を整理しながら、実施設計を行う。平成27年度に改修工事、年度内のオープンを目指す。 ■必要な経費：工事請負費など		
市が政策的に実施する項目	安全	安心	(楽しみ)
			○

拡充事業

事業名	留守家庭児童対策事業（放課後児童クラブ・開設時間延長）		
分類	開設時間延長、障がい児対応、学年拡大については、優先順位をつけずに順次実施する予定。登録40名につき指導員2名配置の基準については、計画期間内に段階的に実施。H27年度は低学年児童の時間延長（18時⇒19時）をめざし、職員を配置する。 ■必要な経費：指導員の人件費など		
国が指定する記載項目	安全	安心	(楽しみ)
	○	○	